

JIS

ジュエリー用貴金属合金の純度（品位）

JIS H 6309 : 1999

(ISO 9202 : 1996)

(JJA/JSA)

平成 11 年 10 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

まえがき

この規格は、工業標準化法第12条第1項の規定に基づき、社団法人日本ジュエリー協会(JJA)/財団法人日本規格協会(JSA)から工業標準案を具して日本工業規格を制定すべきと申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が制定した日本工業規格である。

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：平成 11.10.20

官 報 公 示：平成 11.10.20

原 案 作 成 者：社団法人 日本ジュエリー協会 (☎110-0015 東京都台東区東上野 1-26-2 ☎03-3835-8567)、財団法人 日本規格協会 (☎107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 ☎03-5770-1573)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 消費生活部会 (部会長 小見山 二郎)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は工業技術院標準部標準業務課 環境生活標準化推進室 [☎100-8921 東京都千代田区霞が関 1丁目 3-1 ☎03-3501-1511(代表)] にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

ジュエリー用貴金属合金の 純度(品位)

H 6309 : 1999
(ISO 9202 : 1996)

Jewellery—Fineness of precious metal alloys

序文 この規格は、1996年に第2版として発行されたISO 9202, Jewellery—Fineness of precious metal alloysを翻訳し、技術的内容及び規格票の様式を変更することなく作成した日本工業規格である。なお、この規格で点線の下線を施してある参考は、原国際規格にない事項である。

1. **適用範囲** この規格は、ジュエリー用貴金属合金の純度(品位)(ろうを除く。)の範囲について規定する。

備考1. この規格の対応国際規格を、次に示す。

ISO 9202:1996 Jewellery—Fineness of precious metal alloys

2. 完成品の名称、マーク及びスタンプに使う各国の強制法規は、すべて考慮されなければならない。

2. **定義** この規格で用いる主な用語の定義は、次による。

2.1 **純度(品位)** 貴金属合金中の該当する貴金属の最低含有率。貴金属合金中の質量 %₀で示す。

3. **純度(品位)** 純度(品位)の最低含有率を、表1に示す。負の許容差は、認めない。

4. **定量方法** 純度の定量には、一般に認められた定量方法を用いる。

参考 定量方法には、JIS H 6310(ジュエリー用金合金中の金定量方法)、JIS H 6311(ジュエリー用銀合金中の銀定量方法)、JIS H 6312(ジュエリー用白金合金中の白金定量方法)及びJIS H 6313(ジュエリー用パラジウム合金—パラジウム定量方法—ジメチルグリオキシム重量法)がある。

表1 純度(品位)

単位 質量 %₀

貴金属合金	純度(品位)最低値
金合金	375
	585
	750
	916
白金(プラチナ)合金	850
	900
	950
パラジウム合金	500
	950
銀合金	800
	(835)
	925
備考	括弧のない数値を選ぶことが望ましい。